

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R6(2024).6.3

No. 3

豊岡市のホームページにもアップしています。

豊岡市 HP→左中段「くらし・行政」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ

各研修が始まりました！

令和6年度も2か月が経ちました。修学旅行、自然学校、トライやる・ウィーク等の行事に加え、各校での校内研修や各先生方の研修が進められていることと思います。

さて、今年度、兵庫県の教職員研修に新たに「**20 年次研修**」が加わりました。

研修の在り方について、浅野良一先生（兵庫教育大学大学院客員教授、環太平洋大学教授）は次のように示唆されています。先生方におかれましても以下の視点を踏まえながら、研修を推進していただければと思います。

○個別最適な学び、協働的な学びを通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現することは、児童生徒の学びのみならず、教師の学びにも求められる命題である。**つまり、教師の学びの姿も、子どもたちの学びの相似形である**といえる。

○主体的に学び続ける教師の姿は、児童生徒にとっても**重要なロールモデル**である。

○「令和の日本型学校教育」を実現するためには、子どもたちの学び（授業観・学習観）の転換とともに、**教師自身の学び（研修観）の転換**を図る必要がある。

※令和6年度兵庫県教育研修所連盟第一回理事会にて（令和4年12月中教審答申抜粋）

演劇的手法を取り入れた授業に係る研修会（五荘小にて）

○合意形成のプロセスが大切 ○発表の機会を持つことが大切

○一人一人個性が違う。価値観が違う（分かり合えないところからスタートする）を前提。

【質問：参加教員A】プログラムを進めていく中でもめているチームへの対応は？

➡（ファシリテーター）**失敗する経験を大切**にする。指導者は、**その原因を観察する役割**。

【質問：参加教員B】子どもの授業態度等への対応は？

➡（ファシリテーター）**原則、注意することはしない**。本プログラムは、実際担当の先生が行うが、いつもと違う関係性で行う。その部分を明確化しておくことが大切。普段と違う動きをする点について、**観察することが大切**。

幼・児童期円滑接続研修会（竹野小にて）R5 竹野認定こども園 R6 竹野小

○幼：経験カリキュラム、小：教科カリキュラム＝**子どもの遊びを学びにつなぐこと**

【成果】**保育理解の深まり、子どものより深い理解、園小の強い信頼関係**

【6月の主な研修会予定】

6月 7日（金）学校教育経営研修①（会場：豊岡市民会館）

6月13日（木）演劇的手法を取り入れた授業に係る研修会②（会場：清滝小学校）

〃 演劇的手法を取り入れた授業に係る研修会③（会場：城崎中学校）

〃 学校教育経営研修②（会場：豊岡市民会館）

6月21日（金）学校教育経営研修③（会場：豊岡市民会館）